

平成 27 年 6 月号

メンバー、ボランティア、学生  
みんな仲間!

# けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」

平成 27 年 6 月 1 日 (第 122 号)



## ～バス旅行に行きました～

写真: 齋藤 毅

千葉大学看護学部の実習生とネパールからの留学生も参加して、総勢 25 名で館山市の城山公園と道の駅(枇杷倶楽部等)に行きました。晴天にも恵まれ、お城の天守まで行き館山市内を一望したり、道の駅で海鮮丼やびわソフトを食べたり、またバスの中で実習生や留学生との楽しい語らいもあったり、良いこと尽くめの旅行でした。

## ～プログラム紹介～ おしゃれ教室

海保さん自身の体験を通したお話や、身だしなみに関するレクチャー等様々なことを行っています。

ある日のおしゃれ教室は、海保さんのお店でもある美容室 MADOKA で行われました。お化粧の練習をし、チークひとつで笑顔が華やかになるテクニックを教えてくださいました。小さなおしゃれが自分自身だけでなく、周囲も自然と笑顔にするんだなと思いました。美容室 MADOKA さんでは、けやき割引という大幅な割引があるそうで、後日口紅を買いに行ったら、「2000円すると思ったのに1500円で買えました」とKさんが大喜びでした



## ～プログラム紹介～ 昼食作り

月に2回、ボランティアの方と行っています。第2金曜の森井さんは、予めレシピをメールで送ってくれます。大抵が、季節感あふれるメニューです。水曜の長岡さんの時は、当日、皆で相談して決めます。いずれもまず買い物に行く人と残って準備する人のグループ分けをします。買い物では、つい目移りしますが、あまり高くないように相談しながら品選びです。エプロンとバンダナ姿で、1時間強の調理に取り掛かります。自然に協力し合っています。「遅くなります」と連絡してきて途中から参加する人もいます。なんとか出来上がり、おしゃべりしながらの食事は、本当に楽しいものです。そして、毎回美味しくできるのです。費用はレシートの金額を人数分で割っています。そして、後片付けも皆でやっています。



## 川柳

きつかった祖父の戦死はばあちゃんに  
 孫のボクでき愛されたばあちゃんに  
 竹の子の皮をむきむきどこまでか  
 じいちゃんの五十回忌で皆に会う  
 長崎で友を見舞って涙出た  
 うらみより感謝したこと忘れな  
 い慣れましたそう鬱病の山と谷

### 30年の心の病から一念発起し、今個展開く。

別井知明君(64歳)は10年間アメリカでの絵の修業直後に統合失調症となり、以来30年間入退院を繰り返してきました。4年前に小康状態となりましたが、なぜか一念発起し、自らの作品を公募展に応募し始めたところ、2年続きで同じ公募展に入選したのです。

私、宮本は、彼と高校時代からの付き合いですが、ベッドに空虚にまどろむ様に横になっていた姿に、何もしてあげられない無力感を何度思ったことでしょう。

そんな彼が、この度初めての個展を開くことになりました。抽象画なので、100人の見る目は100人の別世界を作り出してくれます。30年の空白を埋める彼の絵の世界を楽しんでもらえたらと思います。それはそのまま、彼へのエールでもあります。よろしくお祈いします。 宮本 博文

